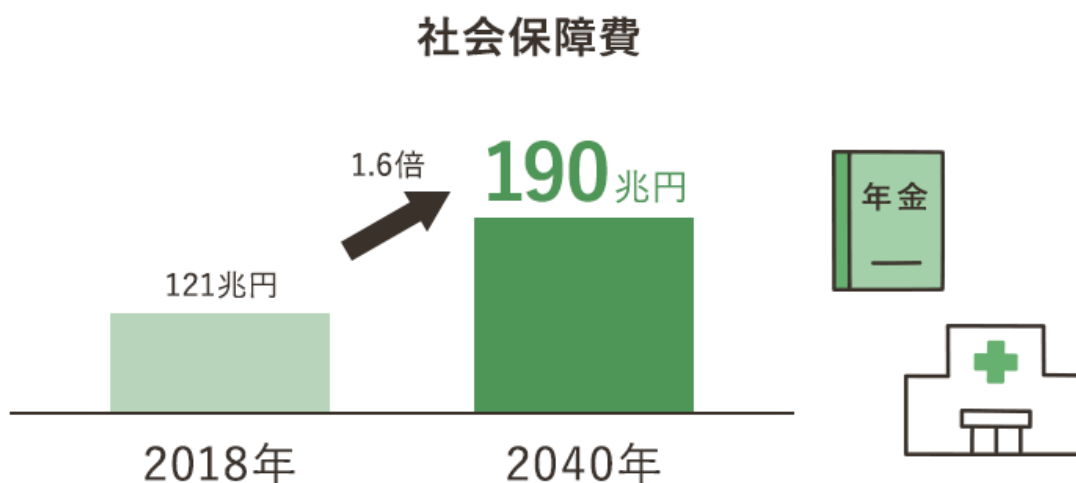




ご近所とのおすそ分けやラジオ体操、グランドゴルフなどの仲間は、地域の皆さんにとって当たり前の営みです。こうしたつながりは、お互いを気遣い、介護サービスに頼らず自宅で暮らし続けるための重要な鍵となります。「つながる通信」ではそういった支え合いを「お宝」として、発信していきます。

※2040年問題とは？



今後高齢化社会では保障費が1.6倍へ

2040年には65歳以上の人口が4000万人近くに達すると想定されています。

その4000万人の社会保障費は2040年には190兆円という数字が予想されています。これは2018年に121兆円だった1.6倍ということになります。

団塊ジュニア世代は就職時に氷河期に遭遇したこともあり、非正規社員が数多くいるとされています。従って、団塊世代に比べて貯蓄額も少なく、年金水準も低下していきます。

さらには団塊ジュニア世代から晩婚化、また結婚しても子供を生まない世帯も多くなり、第三次ベビーブームはありませんでした。そんな中でこの2040年問題、社会保障費をどう捻出するのか、というのが大きなポイントとなっていきます。

今回は2040年問題について取り上げてきました。

この記事に目を通して人の中には、まさに団塊世代、そして団塊ジュニア世代の人もいることと思います。2040年問題は知れば知るほど深刻で、私たちに一体何が出来るかと考えた時に、身近な問題から取り組もう、という一言に尽きます。

少子化が問題となっているなら、子育てしやすい環境を作っていけるようにするのも必要です。

また、将来、今の若い世代の負担にならないように、今から貯蓄をしていく事も求められています。身近なところから取り組んでいきましょう。

地域のお宝発見～日頃の交流が支え合い活動～ 太田市生活支援体制整備事業

取材先

◇ 神谷さんの自粛期間中の過ごし方



様々な種類の手作りマスク



完成した水筒ホルダー



薔薇の写真入り絵葉書

お茶の間カフェのサポーターでもある神谷恵子さん（75）は、自粛期間中、様々な生地で幼児用・大人用のマスクを合計30枚以上作りました。ゴムが品薄で買えなかった時は、白いストッキングを切って代用しました。小池都知事や西村大臣モデルなどデザインも様々で、行く場所や洋服に合わせてコーディネートしています。今後はより通気性の良い夏用マスクや布袋を作っていきたいとのこと。

庭のガーデニングとして薔薇やみかん・ライムなどを育てています。学生時代の友人と会えなくなってしまったため、薔薇の写真を撮って絵葉書にして送り合いコミュニケーションを図っています。

手芸が得意で、水筒ホルダーやフェルト生地のカップなど、パッチワークでたくさんの作品が出来上がりました。



パソコンで描いたデジタル絵画



パソコン教室で上達中！

パソコンも得意で、デジタル絵画やフレイル予防についての資料を作成してみんなに配布したりしていました。

学校が休校中の時は、遠方に住んでいる孫たちとLINEのビデオ電話でカメラアプリを使いながら会話を楽しんでいます。また、家族中でLife360というアプリを利用して、居場所を確認しながら見守り合っています。その他にもお孫さんにスマホの使い方やおすすめのアプリなど教えてもらったりと携帯を上手に活用して生活しています。

チェックポイント

- ・ 自粛期間でも自宅で出来る趣味を見つける
- ・ 絵葉書やオンラインでつながりを切らない

お問合せ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係

〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549

電話 0276-30-0033 FAX 0276-30-0032